



バーゼルワールド2015

パテック フィリップ ジュネーブ

2015年3月

パテック フィリップ年次カレンダー搭載クロノグラフ5905Pモデル： 新しい顔を与えられた偉大な伝統

パテック フィリップの最も人気のあるコンプリケーテッド・ウォッチの中で、中心的な地位を占めているコンプリケーション機能が2つある。1年に1回、3月1日のみ日付調整が必要な年次カレンダーと、精密計測機器としての時計の役割を強調するクロノグラフである。この2つを共に搭載したパテック フィリップの年次カレンダー搭載クロノグラフは、多くの愛好家、コレクターから最も熱望されるモデルのひとつとなっている。パテック フィリップが創作したプラチナ仕様の年次カレンダー搭載クロノグラフ5905Pモデルは、この意味から、毎日の生活に有用なコンプリケーテッド・ウォッチを愛する人々への福音といえるだろう。

パテック フィリップの新しい年次カレンダー搭載クロノグラフ5905Pモデルは、先駆的なデザインと定評のあるコンプリケーション機能の組み合わせが、さわめて斬新な、独自性溢れるタイムピースを誕生させることができることを、いま一度立証したものといえよう。5905Pモデルの文字盤の源流は、2010年に発表された年次カレンダー5205モデルに見ることができるが、新たな文字盤カラーとさらなるディテールは、一目でそれと分かる特徴となっている。最も外周にはさわめて明瞭なクロノグラフ秒スケール・分スケールを配し、その内側には幅の広いリング上にホワイトゴールドのアワー・インデックスが並ぶ。10時～2時には年次カレンダーの曜日、日付、月表示窓が弧状に配置されている。12時位置の日付表示窓は他の2つより大きく、ポリッシュ仕上げされたホワイトゴールドのフレームに縁取られている。また6時位置には大型のクロノグラフ60分計サブダイヤルを配している。その内側、軸の直下には、昼夜を表示する小窓が加えられている。この文字盤デザインは、5905Pモデルに高度な技術性と、パテック フィリップのタイムピースに典型的な時を超越したエレガンスを付与している。文字盤上を旋回するドフィース型の時、分針は3面のファセットが施され、中央部分に夜光コーティングが施されている。5分毎に配置された夜光マーカーと相まって、暗闇でも最高の視認性を保証している。文字盤カラーはブルーおよびブラックがラインナップされている。ブルー文字盤がタイムピースのエレガンスを強調するのに対し、ブラック文字盤はテクニカルな時間計測機器としての機能に注意を惹きつける。

完全自社開発・製造のプラチナ仕様のケース

いずれのカラーの文字盤も直径42 mmのプラチナ・ケースが放つクールな輝きと美しい調和を見せている。ケース全体の輪郭は完璧な均整を見せ、余分なものは何ひとつない。丸みを帯びたベゼルとケース側面のフォルムは、カーブしたラグに連なり、優美な曲線を形作っている。クロノグラフ・スタート・ストップ・ボタン、リュウズ、クロノグラフ・ゼロ復帰ボタンは、ケース側面のカーブと完璧にマッチした弧を描いて配置されている。これらの熟慮されたデザインは、目を楽しませると同時に、比類のないユーザー・フレンドリーな操作性をも実現しているのである。ケースは、パテック フィリップの工房においてプラチナ950の素材から強力なプレスで冷間鍛造により成型され、切削から仕上げまでのすべてを自社規準に準拠して作り出されている。ばり取りや、順次細かい研磨剤を用いて繰り返されるポリッシングなどの時間のかかる手仕上げ工程、さらに数多くの厳格な品質検査が行われる。その結果、1つのケースの製作には約2週間が必要である。こうしてパテック フィリップ・シールのすべての認定規準をクリアし、鑑識眼の高いオーナーの期待に応えるマスターピースが完成するのである。惜しみなく手間をかけて仕上げられたケースはまったく非の打ち所のない美しさを誇る。サファイヤクリスタル・バックを通して、同じく最小のディテールまで配慮を



込めたムーブメントの精緻な仕上がりを鑑賞することができる。マニファクチュール パテック フィリップのすべてのプラチナ・モデル同様、ケース側面の6時位置にトップウェッセルトン・ダイヤモンドがセッティングされている。

2つの定評あるコンプリケーション機能を搭載

サファイヤクリスタル・バックを通して、手首に着用している限り年次カレンダーのスムーズな作動を保証する、重厚な21金中央ローターの動きを見ることができる。このムーブメントでは、受け（ブリッジ）とローターには、同一のサーキュラー・コート・ド・ジュネーブ装飾が施されている。ローターの金色とロジウム・プレートの銀色、ポリッシュ仕上げされた面取りの輝き、赤い穴石（ルビー）などが、キャリバーCH 28-520 QA 24H ムーブメントにすべての愛好家を魅了するこの世のものとも思われぬほどの美しさを与えている。

5905Pモデルは、フライバック・クロノグラフと年次カレンダーという、2つの定評あるコンプリケーション機能を搭載している。年次カレンダーは、1996年にパテック フィリップが特許を取得した機構に基づいている。カレンダー表示機構はレバーを用いず、ほとんど歯車だけによって実現されているという大きな特徴を持っている。これは回転運動の方がより制御しやすいという理由からである。その結果パテック フィリップの年次カレンダーは、過去20年近くにわたり機能性と信頼性の代名詞であり続けてきた。特許取得の年次カレンダー機構は、月末が30日と31日の月を自動的に判別し、1年に1回、3月1日にのみ日付調整が必要である。曜日、日付、月を表示し、さらに昼夜表示を備える。新しい5905Pモデルのクロノグラフ機構も同様の先進性に満ちている。スタート、ストップ、ゼロ復帰の制御は、伝統的なコラムホイールにより行われる。一方、クロノグラフ指針への回転力は、伝統的な水平クラッチではなく、垂直に動くモダンなディスク・クラッチにより伝達される。この方式は中間車の噛み合いに依存しないため、クロノグラフ秒針の飛びやバックラッシュが起らず、きわめて高い信頼性を保証する。さらに従来構造ではクロノグラフを常時作動させることは避けなければならなかったが、このシステムにおいては、精度にまったく影響を及ぼすことなく、クロノグラフ秒針を常時回転させてセンターセコンドのように用いることができる。大多数のクロノグラフに見られるスモールセコンドが省略されているのはこのためである。

新作5905Pモデルは、一目でそれと分かる新しいルックスにより、パテック フィリップの年次カレンダー搭載クロノグラフの発展に新しいページをつけ加えたといえよう。ブルー文字盤を備えたあくまでエレガントなバージョンは、マッチするダークブルーのアリゲーター・バンドを装着し、テクニカルなブラック文字盤のバージョンはブラックのアリゲーター・バンドを装着している。いずれのバージョンもプラチナ950仕様のピンバックル付である。

パテック フィリップのカレンダー搭載クロノグラフ小史

1920年代からパテック フィリップの腕時計クロノグラフは、最も追い求められるタイムピースのひとつに数えられている。技術的観点からも、仕上げの完璧さにおいても、当社ほどクロノグラフの創作に注力してきた時計メーカーは他にない。過去数十年間、エポージュ（素材ムーブメント）を最良のサプライヤーから購入していた時期においても、パテック フィリップの自社工房で完成され、手仕上げされたムーブメントは、エポージュとは見違えるものとなっていたのである。それは最上のダイヤモンド原石が、パテック フィリップの巨匠の手によってカットされ、初めて真の価値を現すようなものである。

90年ほど前、パテック フィリップは腕時計に追加機能を搭載し始めた最初の時計メーカーのひとつであった。前述のように1923年に発表された当社の最初の腕時計クロノグラフは、スプリット秒針を搭載したものであった。1940年には、パルスメーターとアスモメーター（呼吸のリズムのカウンター）を備えた初のワールドタイム・クロノグラフを発表した。その翌年パテック フィリップは、永久カレンダー搭載腕時計クロノグラフ1518モデルのシリーズ生産を開



始した。今日、このモデルは国際オークション市場で記録的な落札価格を更新し続けている。

パテック フィリップは日付に加え曜日と月も表示するフル・カレンダー搭載腕時計でも最高の評価を得てきた。中でも1925年にパテック フィリップが初めて創作した永久カレンダー搭載腕時計は今日、熱狂的に追い求められるタイムピースとなっている。そして前述のごとく1941年にはシリーズ生産の永久カレンダー搭載腕時計クロノグラフが登場したのである。

過去20年間にわたり、パテック フィリップはこれらの伝説的なモデルに新しい刺激を与え続け、全世界の時計愛好家のコミュニティから絶大な賞賛を得てきた。1996年には曜日、日付、月を表示し、1年に1回、3月1日のみ日付調整が必要な年次カレンダーが登場した。年次カレンダーは、まったく新しいムーブメント構造により、パテック フィリップの永久カレンダーよりも求めやすい価格を実現した。2006年、パテック フィリップは、完全自社開発・製造による初の自動巻クロノグラフを発表した。さらなる驚きは、このモデルが年次カレンダーも搭載していたことであった。こうしてパテック フィリップは、カレンダー搭載クロノグラフの偉大な伝統を新たなやり方で今日に受け継いだのである。このムーブメントの新しいバージョン、キャリバーCH 28-520 QA 24H がパテック フィリップ年次カレンダー搭載クロノグラフの最新モデル、5905Pモデルに搭載されている。





技術仕様

年次カレンダー搭載自動巻クロノグラフ5905Pモデル

ムーブメント	キャリバーCH 28-520 QA 24H 自動巻ムーブメント クロノグラフ (コラムホイール、垂直クラッチ)、年次カレンダー、昼夜表示
直径:	33 mm (基本キャリバー: 30 mm、カレンダー・モジュール: 33 mm)
厚さ:	7.68 mm (基本キャリバー: 5.20 mm、カレンダー・モジュール: 2.48 mm)
部品総数:	402個
石数:	37石
連続駆動可能時間:	最小45時間、最大55時間
巻上げローター:	単方向巻上げ式21金中央ローター
テンプ:	Gyromax®
振動数:	28 800 振動 (片道) /時 (4 Hz)
髭ぜんまい:	Spiromax®
髭持ち:	可動式
セッティング機能:	リュウズの2位置 ・押し込んだ位置: 巻上げ ・引き出した位置: 時刻合わせ
表示針:	時針・分針 (センター) クロノグラフ秒針/センターセコンド 60分計 (6時位置)
表示窓:	・曜日 (10~11時位置) ・日付 (12時位置)、18金ホワイトゴールド・フレーム ・月 (1~2時位置) ・昼夜表示 (6時位置)
プッシュボタン:	・クロノグラフ・スタートおよびストップ (2時位置) ・クロノグラフ・ゼロ復帰およびフライバック (4時位置)
調整ボタン:	・曜日調整 (9時位置) ・日付調整 (9~10時位置) ・月調整 (10時位置)
認定印:	パテック フィリップ・シール





外 装

- ケース： プラチナ950
サファイヤクリスタル・ガラス、サファイヤクリスタル・バック
ケース側面6時位置にトップウェッセルトン・ダイヤモンド
3気圧防水
- 寸 法： 直径： 42 mm
長さ： 50.46 mm (ラグ～ラグ)
幅 ： 44.45 mm (3時～9時、リュウズを含む)
厚さ： 14.03 mm (サファイヤクリスタル・ガラス～サファイヤクリスタル・バック)
ラグ間隔： 22 mm
- 文字盤： 真鍮、ブルーまたはブラック
18金ホワイトゴールドのドフィーヌ型時、分針 (3面のファセットが施され、中央部分に夜光コーティング)
サンドブラスト仕上げロジウム・プレートのスチール製カウンターウェイト付クロノグラフ秒針／センターセコンド
真鍮ホワイト・カウンターウェイト付60分計表示針
18金ホワイトゴールド植字バトン型インデックス
ホワイトの転写スケール
- バンド： ラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンド、カラーはマット・ダークブルー (ブルー文字盤) またはマット・ブラック (ブラック文字盤)
プラチナ950 ピンバックル付

